

ねんきん最前線

市区町村 VOICE

千葉県船橋市 健康福祉局健康部国保年金課国民年金係

外国人総合相談窓口を設置してタブレット端末をとおしたりリモート通訳を実施。保険料の案内には独自のリーフレット「国民年金1号加入の方へ」を作成。

1人ひとりに寄り添った対応が「令和7年度市区町村国民年金事業功績厚生労働大臣表彰」を受賞。

船橋市の国民年金業務は、本庁23人（常勤職員8人（係長含む）、会計年度任用職員15人 *2025年12月1日現在）で行っており、本庁舎の他に、船橋駅前総合窓口センターの国民年金窓口でも業務を行っている。

このたび、「令和7年度市区町村国民年金事業功績厚生労働大臣表彰」を受けた。表彰の対象となった取り組みは主に2つ。一つは、外国人総合相談窓口を設置し、通訳者とタブレット端末をとおして会話できるようにしたこと。もう一つは、「国民年金1号加入の方へ」という独自のリーフレットを作成し、保険料に関する案内を実施したこと。こうした取り組みや日頃の業務や今後の課題について、国保年金課の平野有希子課長、国民年金係の奥村香織係長、石黒幹人さんに話を聞いた。



「船橋市ってどんなところ？」

船橋市は、千葉県の北西部に位置し、東京都心から約20キロのところにあります。船橋市には9路線35駅の鉄道網があり、都心へのアクセスだけでなく、成田空港や羽田空港への移動にも便利です。約65万人の人口は、全国の中核市の中で最も多い。沿岸部には恵み豊かな干潟「三番瀬」、内陸部に工業地、商業地、住宅地、農地が広がり、都市と自然が調和していることが特徴となっています。また、野菜や海産物などの収穫量が多く、都会の台所としても知られています。



●人口

合計 652,495人
うち、20～59歳は353,955人、
65歳以上は155,456人
(2025年10月1日現在)

●国民年金第1号被保険者数

合計 67,269人 うち、任意加入被保険者1,133人

(2025年3月31日現在)

●国民年金保険料免除者数

合計 28,984人 うち、法定免除6,158人

申請免除10,900人 <全額免除9,212人、一部免除1,688人>
納付猶予2,906人、学生納付特例9,020人

(2025年3月31日現在)

●国民年金受給者数

老齢基礎年金 145,849人、障害基礎年金 8,942人、遺族基礎年金 969人

(2025年3月31日現在)

さまざまな相談者に応じたきめ細かい対応

——最初に、船橋市の国民年金加入者の状況などを教えてくださいませんか？

奥村係長 船橋市は人口が多いだけに、相談に来庁する方もさまざまです。何が知りたいか、どんなことに困っているのか、1人ひとり異なります。それぞれの状況に応じた相談ができるように心掛けています。年金事務所に案内する場合も、年金事務所と連携してどういった手続きが必要か、どの書類が必要かを伝えてから年金事務所に行っていただくようにしています。

一般的には免除を申請する方が多くなっています。転職等により厚生年金から国民年金に切り替えて、経済的な事情により免除を申請されることが多いですね。未納になることで低年金、無年金にならないように、制度について丁寧に説明しています。

障害年金に関する相談も多くいただいているので、船橋市では、請求に必要な書類を交付する際と、書類の受け取りの際は予約制としていて、丁寧な聞き取りとご案内を心がけています。

最近の特徴としては、外国人の増加があります。国籍別には中国、ベトナム、ネパールの方が上位を占めています。初めて日本に来て日本語学校へ入学する4月、9月の加入手続きや免除手続きが非常に多くなっています。日本年金機構から国民年金加入のご案内が届き、「内容が難しい」「意味がわからない」と来庁される外国人もいます。

外国人の相談者にはタブレット端末を使ってリモート通訳

——この度は、「令和7年度市区町村国民年金事業功績厚生労働大臣表彰」の受賞、おめでとうございます。対象となった取り組みの1つに外国人総合相談窓口の設置がありますが、具体的にはどのようなことを実施したのでしょうか？

平野課長 船橋市では本庁舎の1階に外国人総合相談窓口を設置し、多言語通訳対応のタブレット端末を置いて日本で生活する上でのさまざまな相談を受け付けています。また、国保年金課の窓口にも、市の国際交流課から貸与された通訳タブレット端末を置いています。タブレットをタップすると通訳スタッフに繋がり、テレビ電話を使ってリモート通訳ができるようになっています。

石黒さん タブレット端末は12か国語に対応しており、年金制度など専門的な内容も通訳できます。免除申請などのことも通訳してもらっています。

奥村係長 日本のように皆保険方式の年金制度ではない国もありますので、加入義務の説明には時間をかけて丁寧に行います。1人ひとり納得して帰っていただくために、日本年金機構が作成した外国語パンフレットも利用しています。資格取得の説明を行い、保険料の納付が難しいという方には免除申請についての説明をします。通訳者をおして必要な書類や記入方法も説明し、できる限りその場で書類を受け取れるようにしています。

——外国人への対応でお困りことはありますか？

石黒さん 留学生がグループで来られるときには、ご案内に時間がかかることです。日本語学校の入学シーズンには、グループで来られて住民登録から始まり、国民健康保険の手続きなどを行い、国民年金の加入を案内されることが多いのですが、1人ひとりの手続きになりますので、人数が多いと1日がかりになることもあります。年金事務所から日本語学校に事前に手続きに関するレクチャーがあり、学校のコーディネーターの方が相談に来ることもあります。

奥村係長 外国人留学生の手続きについては、学校と船橋市は、まだそれほど連携ができていないのが実情です。今後は学校ごとに事前説明会を行うことにも取り組んでいきたいと思っています。

わかりやすく市民が知りたい内容をまとめた「国民年金1号加入の方へ」リーフレット

——国民年金第1号被保険者向けに独自に作成されたリーフレット（図）はどのようなもののでしょうか？

石黒さん 国民年金に加入した人のために、市民の方が本当に知りたい内容をまとめたものです。「保険料はいくら支払うのか」「どんな支払い方法があるのか」といったことに加えて、お得な前納制度や年金額を増やすための付加年金についても記載しています。リーフレットを見て付加年金を申し込まれた方もいらっしゃいます。また、保険料の支払いが困難な方のための免除制度についても記載しています。

このリーフレット以外には、年金事務所から送付してもらっている「知っておきたい年金のはなし」という冊子も利用しています。

平野課長 転入手続きで来庁された人の手続きの流れは、転入手続き⇒国民健康保険の手続き⇒国民年金の手続きとなることが多いのですが、船橋市役所ではそれぞれの窓口を色分けして（転入：緑、国民健康保険：オレンジ、国民年金：青）、動線に従って案内しやすいようにしています。届出書は複写で流用できるようになっていますので、1回の届出で済むようになっています。

——国民年金保険料を納付することに対して、市民の方、特に若い方の反応はいかがですか？

平野課長 制度そのものについてよく知らない方も多いと思いますので、年金制度が支え合いの制度であることを理解していただけるよう、窓口では職員が丁寧な説明を行っています。

石黒さん 若い方は学生納付特例の申請が多いです。親子で相談に来られる方もいらっしゃいますので、学生納付特例制度のメリット・デメリットをお伝えした上で、申請をするかどうかを決めていただくようお願いしています。

<図> 船橋市が独自に作成したリーフレット「国民年金1号加入の方へ」

(表面)

(裏面)

国民年金1号加入の方へ 《令和7年度》

必ずお読みください！

納め方 納付書の発行・納付に関するお問い合わせは
船橋年金事務所へ 047-424-8811

日本年金機構 HP

令和7年度 国民年金保険料
定額保険料(1か月) 17,510円 付加付保険料(1か月) 17,910円
(令和8年度) 17,920円 (令和6年度) 16,980円 (令和5年度) 16,520円

納付書払い 加入手続きから2か月前後に、「国民年金保険料納付案内書」が郵送されます。
届いた納付書で、お近くの 銀行・郵便局・コンビニ 等でお支払いください。
スマートフォンアプリを使用した電子(キャッシュレス)決済による納付も可能です。
市の窓口(市役所・出張所・フェイス)で、納付・納付書の発行はできません。

口座振替払い 手続きは 金融機関 又は 年金事務所です。(納付案内書・通帳・通帳印鑑)

クレジットカード払い 手続きは 船橋年金事務所 です
口座振替、クレジットカード払い開始まで2か月ほどかかります。それまでは届いた納付書でお支払ください。
口座振替、クレジットカード払いをご利用の方が免除申請されたときは、振替停止の手続きが必要です。

前納一括払い
2年分・1年分・半年分等、まとめて前納すると割引される制度です。
手続き方法、期限など詳細につきましては、船橋年金事務所にお問い合わせください。
※前納をご希望された場合、通常に発送される納付書と前納用の納付書が2冊届く場合がございますのでご了承ください。

付加年金 年金の額を増やしたい！
市役所・出張所・フェイス(又は年金事務所)で申請できます
定額の保険料に加えて付加保険料(月400円)を納付すると、受給する老齢基礎年金に付加年金が上積みされます。付加年金額は 200円×付加保険料納付月数 で算出されます。

★付加年金は届け出された月からの加入となり、さかのぼっての納付はできません。
★保険料免除者(産前産後は除く)、国民年金基金加入者は付加年金には入れません。

老齢基礎年金・障害基礎年金・遺族基礎年金 が私たちを支えます
若者や、ケガ・病気で働けなくなったときなど、生活の基礎となる費用が年金として支給されます。

免除制度 保険料の納付が困難な方は免除制度をご利用ください。
ただし、免除された期間は、年金の受給権を獲得するための資格期間には入りますが、免除期間に応じて受給額が減額されます。

一般申請免除〈所得の少ない人〉 本人・配偶者・世帯主の所得の審査があります
前年の所得状況により全額免除、又は一部免除(半額等)が受けられます。

・特例免除 ・仕事を辞めた人※1(失業、倒産も含む) ・天災等の被害者 など
※対象期間については日本年金機構のホームページをご覧ください。お問い合わせください
※1 雇用保険被保険者離職票・雇用保険受給資格者証・雇用保険被保険者資格喪失確認通知書のいずれか必要

・納付猶予〈50歳未満〉 本人・配偶者 の所得の審査があります

学生納付特例〈学生〉 学生証等が必要 所得の多い学生は対象外となることがあります。
★免除および納付猶予の期間は7月～翌年6月(受付開始は毎年7月から)、
学生納付特例は4月～翌年3月(受付開始は毎年4月から)です。
★申請開始から2年1か月間までの期間(未納期間)について申請できます。
★免除および納付猶予された保険料をさかのぼって納める制度(還納制度)もあります。
ただし、3年度目以降は加算金がかかります。
★納付済の期間については免除申請できませんのでご注意ください。 ※前納している場合は申請可
★免除申請が遅れ未納期間が発生すると、「遺族年金」や「障害年金」が受けられなくなることがありますので
ご注意ください。

法定免除 〈障害年金受給中・生活保護受給中で日本国籍の人〉
障害年金(1・2級)を受給中の方… 年金証書
生活保護受給中で日本国籍の方… 生活保護開始日のわかる証明書 が必要

産前産後期間の免除 母子手帳が必要
出産日(予定日)の属する月の前月から4か月間免除(多胎妊娠の場合は出産日の属する月の3か月
から6か月間免除)。 出産予定日の6か月前から届け出可能。

◆海外転入・転出手続きをされた方へ◆
国外へ転入をする国民年金の資格は喪失となりますが、引き続き納付を希望される方は申請をすれば任意で国民年金に加入することができます。(海外任意加入)
また、国外より転入し厚生年金や厚生年金加入者の被扶養者(第3号被保険者)でない方は、国民年金加入
手続きをしてください。海外任意加入している方も1号被保険者への切り替え手続きが必要です。

…免除申請・海外任意加入の手続きは… 出張所ではできません！

市役所国保年金課 又は 船橋駅前総合窓口センター(フェイスビル5階8番窓口) まで

年金全般に関すること ねんきんダイヤル 0570-05-1165
納付等に関すること 船橋年金事務所 047-424-8811
免除等に関すること 市役所国保年金課 047-436-2282

マイナンバーカードをお持ちの方はオンラインにて免除申請や学生納付特例申請をすることもできます。
詳しくはマイナンバーのホームページをご覧ください。

マイナポータル

年金事務所とは常に情報共有が行える良好な関係

——年金事務所とはどのような連携を築かれていますか？

奥村係長 年金事務所は船橋年金事務所が管轄する4市1町(船橋市、八千代市、印西市、白井市、栄町)で年4回、協議会を開催して情報共有や意見交換を行っています。国民年金事務初任者向けの合同の研修会や可搬型照会用マシンの研修も実施していただきました。

障害年金のことなど毎日問い合わせの電話をして、相談に乗っていただいています。年金事務所とは風通しのよいお付き合いをしており、これからも良好な関係を築いていきたいと思います。

市民1人ひとりに寄り添ったきめ細かい対応を

——今後の課題や抱負を教えてください。

平野課長 国民年金係には、さまざまな年代、家族構成、国籍の方が相談に来ます。年金制度をわかりやすく説明するのはもちろんのこと、1人ひとりに寄り添ったきめ細かい対応を続けていきたいと思っています。

奥村係長 4月の年度当初は来客数が非常に多くなりますので、日本語学校との連携などによりスムーズな対応を心掛けたいと思っています。

石黒さん 障害年金は1人ひとりケースが異なりますので対応が難しいこともありますが、ご病気の状況を聞き取り、どのような書類が必要か、丁寧に相談に応じていきたいと思っています。船橋市では障害年金の相談者には納付要件を確認してから来庁のご予約をお取りしています。それは、何回も足を運んでもらわなくても済むようにするためです。これからも年金事務所と連携しながらきめ細かい対応をしていきたいと思っています。



取材を受けてくださった国保年金課の皆さん。中央が平野有希子課長、右が奥村香織国民年金係長、左が石黒幹人さん。